

サーボコントローラ

EM52シリーズ

- 制御入力信号に比例してコントロールモータ(フィードバックポテンショメータ付)の回転角を調節します。
- フィードバック抵抗(F.B.POT)は100~2kΩ間で任意に入力できます。
- 出力はリレー接点またはトライアック(SSR)より選択できます。
- プラグイン式、パネル面またはDINレール両用取付型のため、メンテナンスの際の取扱いが簡単です。



形番構成

■コード選択表

項目	コード	仕 様			
1.シリーズ	EM52-	プラグイン式 サーボコントローラ			
2.入 力	1	DC1~5mA 受信抵抗:約 250Ω			
	2	DC4~20mA 受信抵抗:約 63Ω			
	3	DC0~10V 入力抵抗:約 520kΩ			
	5	ポテンショメータ100Ω~2kΩ(三線式)			
	9	その他			
3.出 力	Y	接点 AC240V 1A 誘導負荷 CRアブソーバ内蔵			
	R	接点 AC240V 1A 誘導負荷 CRアブソーバなし			
	S	トライアック AC20~120V 1A 誘導負荷 (モータ電源電圧範囲:AC20~120V)			
4.固 定		9			

※電源:AC100~240V±10% 50/60Hz

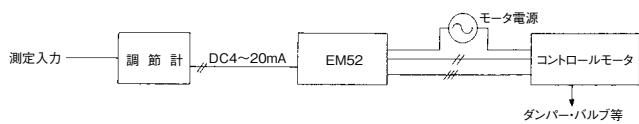
仕 様

■入 力	コード選択表参照	■一般仕様	
フィードバック抵抗	100Ω~2kΩ間 任意/3線式	使用周囲温度範囲	-10~+50°C
■出 力	リレー接点またはトライアック (SSR)	使用周囲湿度範囲	90%RH以下(ただし、結露しないこと)
出力定格／接点保護		保存温度	-20~+65°C
リレー接点	AC240V 1A(誘導負荷)/ CRアブソーバ	電 源	AC100~240V±10% 50/60Hz
トライアック(SSR)	AC20~120V 1A(誘導負荷)/ (交流負荷専用) CRアブソーバ+バリスタ	消費電力	約4VA
動作すぎ間	入力信号範囲の約0.5%固定	絶縁抵抗	
不感帯(DB)	入力信号範囲の約1~10%可変	入力端子と電源端子間	DC 500V 100MΩ以上
不感時間	約0.2秒(チャタリング防止用)	出力端子と電源端子間	DC 500V 100MΩ以上
開度調節範囲	0%(ZERO)/0~20%可変	耐電圧	
	100%(SPAN)/70~100%可変	出力端子と電源端子間	AC1500V 1分間
出力動作表示	M2~M1導通時/LED 緑色点灯 M2~M3導通時/LED 赤色点灯	材 質	ABS樹脂成形
		外形寸法	H83.5×W50×D146.5mm (ソケット端子台含む)
		取 付	11ピンプラグイン形 (パネルまたはDINレール取付)
		質 量	約170g(本体) 約75g(ソケット端子台)

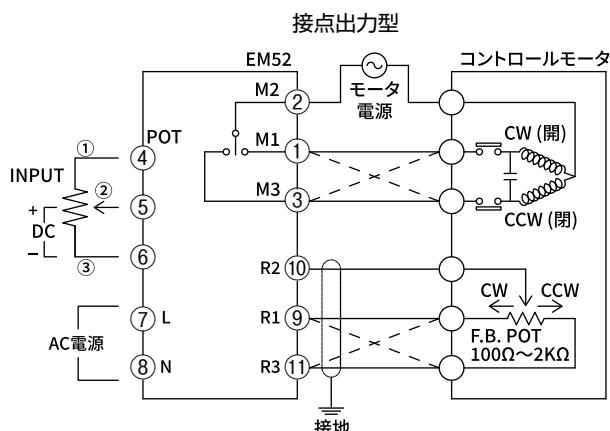
リレー動作図

接続調節計の特性		動作	入力信号“増”時のリレー動作	バランス時のリレー動作	入力信号“減”時のリレー動作
RA		加熱	M2-M1: ON “開” M2-M1, M3共: OFF “停止” 	M2-M1, M3共: OFF “停止” 	M2-M3: ON “閉”
DA		冷却	LED緑色点灯 	LED消灯 	LED赤色点灯

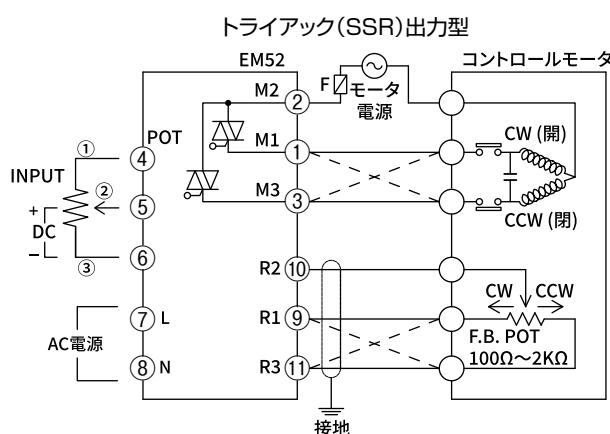
使用例



配線図

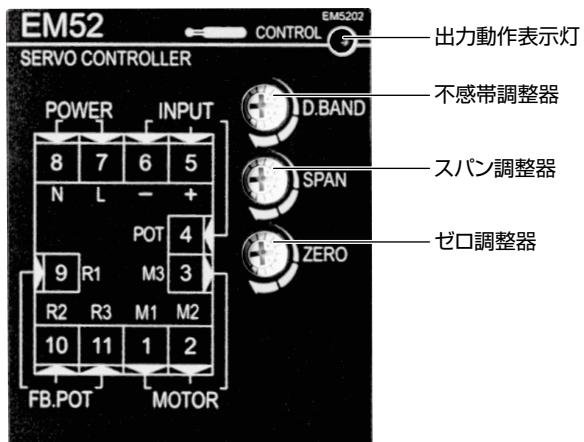


- モータ電源は、使用モータの定格に合わせてください。
- モータの動作を逆(入力0%で開、100%で閉)にしたい場合は、図中破線のように端子1と3の配線を入れ替え、更に端子9と11の配線を入れ換えてください。

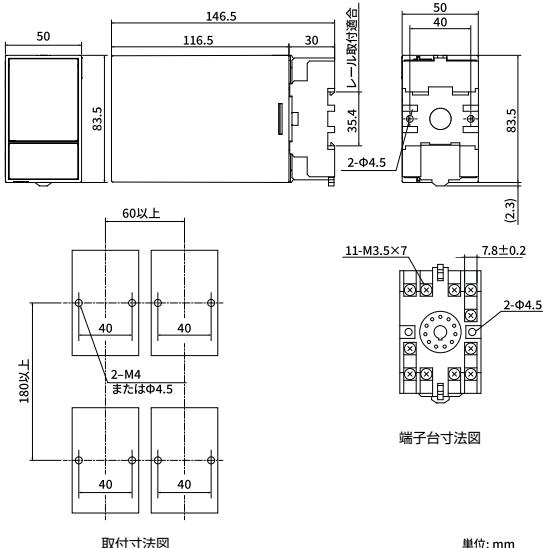


- CW:時計方向回転(開)
CCW:反時計方向回転(閉)
- Fは、ヒューズを示しています。
- トライアック出力を選択されたお客様へ
モータ電源電圧は交流20~240Vの範囲でご
使用ください。またトライアックの破壊モードは
導通ですので、故障時にモータの焼損を防ぐた
め、端子2と電源間にヒューズを付けられること
を、おすすめします。
(ヒューズの電流定格は、ご使用になるモータの
電流定格の2倍程度)

端子図、前面部説明



外形寸法図(単位:mm)



警告

- 配線、結線作業は電源OFFの状態で行ってください。
感電することがあります。

注意

- 結線は内線規定、電気設備技術基準に従ってください。

商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

